

新型コロナウイルス感染防止対策等を徹底し東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功を求める意見書

オリンピック・パラリンピック競技大会は、トップアスリートが参加する世界最大級のスポーツの祭典であり、特に今回の大会は、東日本大震災からの復興を世界にアピールし、これまでの支援に感謝するとともに、コロナ禍による閉塞感を打破し、国民に感動、勇気、希望を与える大会となることを目指すものである。

本県においても6月6日、7日に実施された聖火リレーにより、県民の大会開催への機運が高まっていることに併せ、9名の選手が日本代表に内定し、その活躍が大いに期待される場所である。

一方で、新型コロナウイルス感染症については、より感染力が強いとされるデルタ株の急拡大など、未だ感染封じ込めには至らない状況にあることから、開催を不安視する声もある。

アスリート、大会関係者、観客など全ての人にとって安全で安心な大会とするためには、ホストタウンとなる市町村と連携した水際対策をはじめ、役員・ボランティアへのワクチン接種の実施、観客収容数の厳格化や県境を越えた接触機会の制限等、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底する必要がある。

よって、国においては、新型コロナウイルス感染及び事故の防止等、万全な対策を講じたうえで東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を成功させるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年7月2日

衆議院議長	大島理森殿
参議院議長	山東昭子殿
内閣総理大臣	菅義偉殿
文部科学大臣	萩生田光一殿
厚生労働大臣	田村憲久殿
経済産業大臣	梶山弘志殿
国家公安委員会委員長	棚橋泰文殿
内閣官房長官	加藤勝信殿
行政改革担当大臣	河野太郎殿
経済再生担当大臣	西村康稔殿
東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣	丸川珠代殿

山形県議会議長 坂本貴美雄